



那覇市立教育研究所

所報第10号

平成21年12月 8日

那覇市金城3-5-3

所長 池間生子

視点を考える

所長 池間生子

休憩時間に所員の一人が二十数年前、北海道で季節工として働いた時の話が話題になった。酪農家での体験談である。

搾乳している時、牛が静かに立っている理由、松阪牛が軟らかく日本人の好みに仕上がる理由、雄牛のほとんどがキャットフードやドッグフードになつてしまうこと、お乳を出すため、種付けからお産までを計画的に行い一年間滞りなく搾乳が出来るようにすること、子牛は母牛から乳をもらうことはほとんどないこと、等が話題の中心であった。

「僕は、牛に生まれなくて良かった」
「一生を人間様のために管理されて生きるなんて！」とTが言った。

「もしかすると〇〇の硬い肉は、オス肉だったりしてハハハ」とM男、
「松坂牛はあれだけ管理されているのだから高値に納得！」Uが言った。

休憩時間が終わり、それぞれが各自の仕事が始めた。楽しい話題であつたはずなのに、どうもすつきりしない。「牛が育つ」「牛を育てる」「牛をつくる」視点を考えることで見方、感じ方が違ってくることは当然であるが、食料として考えることと、育てるといふことで考えることの視点が整理されずに戸惑ってしまった話題であつた。

日頃、授業研究会で「視点を持つて授業参観をしよう」と使つてきた言葉であるが、しかし、「視点を持つて」は、具体的にしかも丁寧にならなければお互いに納得した「視点を持つ」ということは難しいのだと改めて考えさせられた。

教育研究員募集

平成22年度の教育研究員を募集しています。

前期 4月1日～9月30日

後期 10月1日～3月31日

申込みについては、

様式1 教育研究員申込書

様式2 テーマ設定理由等

様式3 所属長の推薦書

が必要となります。

各学校へも Desknet's で送信致しましたが、研究所にられました。研究所HPからもダウンロードできます。

締切 平成22年2月5日(金)

教育研究員

所内講座

日時 11月25日(水) 14:00～16:00

講座名 「沖縄の伝統芸能のはなし～ぐあ～」

講師 浦添市立浦添小学校 教頭 銘苅 健 先生



沖縄の伝統芸能について、その歴史的な背景や人々の暮らしとの関連、組踊りの説明…等、具体的に分かりやすくお話し頂き、沖縄の文化と伝統の重要性を改めて認識しました。

日時 11月27日(金) 10:00～12:00

講座名 「思いを伝える話し方のポイント及び指導法」

講師 (有)フリーランスネットワーク 代表 佐渡山美智子 先生



相手を理解することを大切に、勝手な解釈や言葉が不足しないように気をつけること等、また伝える側の心的な面にも触れながら指導者の役割や指導技術を深めることができました。

日時 12月4日(金) 9:00～12:00

講座名 「表計算ソフトエクセルの基本的操作及び応用的機能」

講師 興洋電子情報システム部 インストラクタ 上地弘美 先生



エクセルにおける表作成やデータ入力の方法、グラフ化について、基本的な操作に始まり、裏技的な便利な操作まで、各研究員の具体的なアンケートも盛り込みながら、分かりやすく指導して頂きました。

上原正人先生 来所



秋田県の桜小学校に、交流教員として勤務している上原正人先生が、研究所にられました。

短い時間でしたが、直接情報交換をすることができました。



秋田の学校では、次の日の授業準備を徹底していますねえ。小学校でも教諭の皆さんは、一人一人が専門教科をもっていますよ。

研究所生活

「さわやか朝礼」 毎朝8:30～



一日の勤務内容の確認とミニ所長講話があります。